

推奨ユニフォーム・推奨服を設定するねらい

小学部・中学部の皆様へ

R3.11.13 説明会資料より

推奨ユニフォーム（体操服：登校後に着る服）

- ・登校後、ユニフォームに着替えることで、教育活動への切り替えをスムーズにする。
- ・同じユニフォームを着ることで、同じ学校に通う仲間としての連帯感をはぐくむ。

中学部の推奨服（制服：通学時の服装）

- ・制服を導入することで、保護者だけではなく、生徒が自らの成長を実感し、自尊心を高める機会とする。
- ・制服を着る日と着ない日で、学校へ行く日かどうかの見通しを生徒自身が持つことができる。

安全性を高める効果

- ・集団として周囲の大人たちからは視認性が高まる、児童生徒にとっては自らの所属を自覚できる（行方不明の防止）
- ・児童生徒が同じ学校の仲間であることを自覚することで、校外活動時において、自分の集団をみつけやすくなる
- ・集団から離れた児童生徒を、地域の方々がどこの学校の子どもであるか認識でき、学校への連絡等につながる

教育的効果

- ・通学時と違う服に着替えることでの学習への切り替えをスムーズにする
- ・着替えの指導時には、一貫性を持たせやすい
- ・制服姿に自身の成長を感じ、自尊感情を高めるきっかけとなる
- ・学校への愛着を深め、障害受容のきっかけとなる
- ・制服を着る日は学校、そうでない日は学校が休みという見通しをもてる

その他の効果

- ・私服を買うよりも安くすむ場合もある（高価な私服を買う必要性がなくなる）
- ・服装に迷うことがなくなる
- ・家庭の経済状況の差が服装に現れにくい

デメリット

- ・成長に伴う買い直し、価格が高い
→ 補正（無料）で3年もしくは6年着られるものを選定している
制服リサイクルを取り入れる
- ・着る機会があまりない → 強制購入としない
- ・過ごしやすい服装を選べない → 強制購入としない

【本来の趣旨】

阪神地域において、地域の中学校では制服を採用しているが、特別支援学校に通う中学部の生徒には採用しないことが一般化している。特別支援学校の生徒たちも障害の多様化がすすんでおり、制服を着るという選択もできるようにしたい。ただし、お子さまの障害の状態等は、一人一人異なっています。体操服と制服（中学部）は、どちらも着用義務の無い「推奨」として設定していますので、購入は必須ではありません。お子さまの今の状態に合わせて、最適だと思われるものを選択いただきますよう、お願いいたします。